

(別紙)

園芸学会「園芸功労賞」歴代の受賞者

年度	受賞者	テーマ
昭和 31 年	野崎綱次郎 (名古屋市)	そ菜の品種改良の功労
昭和 32 年	麻久保共同防除組合 (長野県篠ノ井町)	共同防除の創施者としての功労
昭和 33 年	道後第一共選組合 (愛媛県)	第 10 回全国果実共進会における温州ミカンの出品
昭和 34 年	宇和青果農業協同組合玉津支所 (愛媛県) 富山県花き球根農業協同組合 (富山県)	第 11 回全国果実共進会における温州ミカンの出品 輸出球根の精算に対する功労
昭和 35 年	桃沢匡勝 (長野県飯島町)	伊那地方のナシの計画生産と計画出荷による経営指導の功労
昭和 36 年	清水基夫 (日本花き園芸組合)	日本花き園芸組合連合会の育成に関する功労
昭和 37 年	高橋郁郎 (日本園芸農業組合連合会)	カンキツの生産業発達に対する永年の功労
昭和 38 年	及川伍三治 (養賢堂)	出版を通じ園芸発展のためつくした永年の功労
昭和 40 年	桐野忠兵衛 (愛媛県)	カンキツの流通改善に対する功労
昭和 41 年	滝井治三郎 (タキイ種苗) 坂田武雄 (坂田種苗)	そ菜の育種に関する功労 花きの育種に関する功労
昭和 42 年	橋本昌幸 (岩手県)	貴花コスモスの朱赤色品種のサンセットの育成に関する功労
昭和 43 年	小川誠一郎 (誠文堂新光社) 蟹江一太郎 (カゴメ株式会社)	出版を通じ園芸の普及ならびに発展につくした永年の功労 トマト加工産業に対する永年の功労
昭和 44 年	中村昌六 (大洋興業株式会社)	ビニルフィルムの農業利用の開発普及に対する功労
昭和 48 年	渋川伝次郎 (岩手県) 渡辺穎二 (渡辺採種場)	リンゴ産業に対する永年の功労 そ菜の品種改良に対する永年の功労
昭和 49 年	土屋長男 (山梨県)	ぶどう栽培における永年の功労
昭和 53 年	秋久 勲 (鳥取県果実農協連)	ナシ産業発展に対する永年の功労
昭和 55 年	小井戸直四朗 (松本市小井戸微笑園)	キク 7~9 月咲き品種の育成
昭和 56 年	大津祐男 (神奈川県)	カンキツの高接更新技術の開発普及
昭和 59 年	三好靱男 (ミコン)	組織培養による無病苗生産の実用化
平成元年	鈴木省三 (京成バラ産業)	バラの育種
平成 4 年	花本美雄 (鳥取県果実農協連) 黒川 浩 (千葉県)	二十世紀ナシの輸出促進に対する功労 ストックの育種と採種に対する功労
平成 13 年	岩佐吉純 (サカタのタネ)	花き産業の発展に対する永年の功労
平成 16 年	隔年交互結実技術開発グループ (山口県、愛媛県、佐賀県)	ウンシュウミカンにおける隔年交互結実技術の開発・普及
平成 17 年	菅原真治 (愛知県農業総合試験場)	単為結果性トマト品種の育成
平成 18 年	庄子孝一 (みやぎ原種苗センタ)	東北地域におけるイチゴの安定生産技術確立とイチゴ生産の振興への貢献
平成 19 年	完熟トマト`桃太郎`系統品種育種グループ (タキイ種苗)	完熟トマト`桃太郎`系統品種の育種と普及

年度	受賞者	テーマ
平成 21 年	カンキツマルチ・点滴かん水同時施肥システム開発グループ（農研機構近中四農研） 勝谷範敏（広島農技セ）	カンキツのマルチ・点滴かん水同時施肥システムの開発と普及 デルフィニウムの安定生産技術の開発と普及
平成 22 年	小林泰生・坂井康弘・谷川孝弘・山田明日香・松野孝敏・國武利浩・巢山拓郎 （福岡県農業総合試験場） 小川正輝・石崎政彦・角田秀孝・山内 勸・中村義彦・竹本 昇・辻本雅宏・黒田喜佐雄・岩本和彦・松本善守・小野良允・沢村泰則・大西豊・植田重孝（和歌山県・奈良県カキ`平核無`・`刀根早生`CTSD 脱渋研究グループ）	トルコギキョウ切り花の周年生産におけるコスト低減、品質向上および出荷期調節技術の開発 カキ`平核無`・`刀根早生`CTSD 炭酸ガス脱渋法の実用化
平成 23 年	村田治重・進土和雄・山本章吾・渡邊 榮・水戸喜平・末松信彦・中村新市・村上 寛・石井ちか子・山本宏道（静岡県農林技術研究所）	南伊豆地域における早咲きザクラの探索、増殖、生態解明および観光利用への貢献
平成 25 年	小笠原静彦（元広島県立農業技術センター）	ブドウにおけるストレプトマイシンの無核化作用の発見と利用
平成 27 年	本図竹司（茨城県農業総合センター）	フリージア冷蔵促成栽培における切り花の安定生産技術の開発と普及
平成 28 年	農研機構果樹研究所ブドウ育種グループ	ブドウ新品種`シャインマスカット`の育成

（園芸学会ホームページより）